

第36回 国立市健康危機管理対策本部会議記録	
日時	令和4年8月19日（金）11時00分から11時35分
場所	市役所2階 市議会委員会室
出席者	永見市長、竹内副市長、政策経営部長代理箕島政策経営課長、藤崎行政管理部長、馬橋子ども家庭部参事 大川健康福祉部長、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、黒澤生活環境部長(健康福祉部参事)、 北村都市整備部長、橋本教育部長、議会事務局代理古沢議会事務局次長、林会計管理者 玉江選挙管理委員会事務局長、佐伯オンブズマン事務局長、菅野監査委員事務局長
付議事項	(1) 都内・市内の状況について ①東京都の状況（資料No.1～5） ②市内の状況 (2) 自宅療養支援室の対応について (3) 市の対応 (4) その他 ①消防機関からの情報提供 ②小児ワクチンについて
主な内容	(進行：大川健康福祉部長)
1 議題	(1) 都内・市内の状況について（大川健康福祉部長） ①都内の状況(資料No.2～6) ・感染状況は「感染が拡大している」と分析されている。 ②市内の状況 ・8月の感染者において、～10代が4分の1、50代以上が約4分の1、残りが20～40代という割合である。 (2) 自宅療養支援室の対応について（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長） ・70歳以上の方の感染者については、こちらから追いかける架電をしている。（10件/日程度） ・パルスオキシメーターの当日貸与は2～3件/日は全庁応援によりスムーズに対応できている。 (3) 市の対策について（大川健康福祉部長） ・高齢者の季節性インフルエンザ定期予防接種の補助事業 ・治療薬についての取扱い等についての情報収集 (4) その他 ①消防からの情報（松平防災安全課長） コロナの感染拡大と熱中症で病院への搬送時間がかなりかかっている。 ②小児ワクチン接種の努力義務化について（黒澤生活環境部長(健康福祉部参事)） 引き続きファイザー製の小児ワクチンで、小児科医での接種予定である。
2 本部長指示及び対応方針について	他市を見ると、コロナ感染での死者は多く、切迫感がある。状況の変化について、全職員が関心を持って、対応できるようにしてほしい。

以上